

まちかどネットワーク



富士ヒノキ ピンバッジ

ズームアップ SDGsの普及啓発グッズ

製作を担当している小林木工所（蓼原）では、富士ヒノキの端材をくり抜くなど加工しています。小林邦洋社長

国連が採択したSDGs（持続可能な開発目標）を多くの人たちと共有し、実践するため、富士ヒノキでつくったオリジナルのピンバッジを富士市が企画し民間事業所などが製作・販売しています。SDGsは、暮らしやすい社会を実現するため、世界中の人々を取り組むさまざまな17の目標で構成されています。このピンバッジは、製作から販売するまでの流れの中に、富士ヒノキ林を維持することで達成される「陸の豊かさを守ろう」や「働きがいも経済成長も」など、6つの目標の達成を目指しています。

製作を担当している小林木工所（蓼原）では、富士ヒノキの端材をくり抜くなど加工しています。小林邦洋社長

は「紙やすりでバッジを磨く作業が大変ですが、使う人のため丁寧に仕上げています」と話します。

袋詰めを担当する障害者就労支援施設の鷹身工芸社（久沢）では、施設利用者20人のうち5人がピンバッジ関係の作業を行っています。田邊芳江所長は「施設利用者の皆さんは作業を通じてSDGsのことを知り、また環境を守る活動に参加することを喜んでいます」と話していました。



ピンバッジの袋詰めを担当する鷹身工芸社の皆さん



インバータ・エアコン

ズームアップ 未来技術遺産に登録された東芝キヤリア（株）の製品

国立科学博物館が選定する今年度の「重要科学技術史資料（愛称：未来技術遺産）」に、東芝キヤリア富士事業所（蓼原）が昭和56年に世界で初めて開発した家庭用インバータ・エアコンが登録されました。

このエアコンで使われているインバータとは、電気の交流を直流に変え、パワーデバイスを経由することで電気の周波数を変えることができる装置です。このため、細かい電力の調整ができるようになり、大幅に消費電力を減らすことができるようになりました。

現在では、この技術は広く普及しています。昨年には、猛暑対策として施工業者の（株）遠藤管工設備や日本ファシリテイ・ソリューション（株）、静銀

リース（株）の3社とともに、4月から3か月間で、市内の小・中学校合わせて731教室にインバータ・エアコンを整備していただきました。

富士事業所の和田宏二所長は「短期間の施工で苦労しましたが、施工業者との連携を深め、ONEチームとして取り組みました。地元富士市の子どもたちに貢献したいという思いがありました」と語っていました。



エアコンのインバータ装置と開発に携わった箕さん（左）と長澤さん

★我が家のアイドル大募集!!

あなたの子どもの写真とコメントを募集しています。

ご応募の際には、

- 1 子どもの写真（顔全体が写っている横写真）
- 2 子どもの氏名（ふりがな）、生年月日
- 3 20文字程度のコメント
- 4 応募者の住所・氏名・電話番号

※掲載の際にシティプロモーション課から連絡しますので、必ず連絡がとれる連絡先を明記してください。

詳しくはシティプロモーション課まで。

☎ (55) 2700 ☎ (51) 1456

✉ so-citypro@div.city.fuji.shizuoka.jp



かな
大石 佳奈ちゃん（横割 6）
H30.9.27 生
「いつも笑顔をありがとう！
大きくなったね！」



はると
伊澤 椿人ちゃん（川成新町）
H31.1.3 生
「1歳になりました♪」

HAPPY PHOTO'S

我が家の
アイドル

